

大地震から命を守る!

大地震が起きたとき、少しでも被害を軽減させるためには、一人ひとりの日頃からの減災・防災の取組と地域における助け合いが欠かせません。「防災5箇条」に沿って、家庭や地域での備えをあらためて確認しましょう。

問合せ 区役所庶務係 ☎847-8315 ☎841-7030

防災5箇条

その1 話し合おう! ... 家族の連絡どうするの?

大地震が起きたとき、停電が発生したり、電話が通じにくい状況になったりします。家族で話し合い、NTTの災害用伝言ダイヤルや通信各社の災害用伝言板、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)の利用を検討しましょう。災害用伝言ダイヤル・伝言板の使用方法など詳細は、通信各社のホームページを確認してください。



その2 備えよう! ... 最低でも、食料・飲み水3日分

大地震発生直後は流通が滞り、食料や日用品の購入が難しくなる場合があります。家族構成を考えて、最低3日分備蓄しておきましょう。

- ☑ 飲料水(目安:1人1日3ℓ) ☑ 食料品
 - ☑ トイレパック*(目安:1人1日5パック)
- *「凝固剤」と「処理剤」のセットで、ホームセンターなどで購入できます

避難するときにすぐに持ち出せるよう、最小限のものをもとめて枕元などに置いておきましょう

食料品の備蓄にオススメ! ローリングストック法
缶詰や乾物など非常食にもなる食品を買い置きし、普段の食事で定期的に消費しながら、なくなった分を買い足す方法です。いざというときの期限切れを防げます。

その3 圧死から身を守ろう! ... 家具の転倒防止と耐震対策

背の高い家具やテレビなどの動きやすいものを中心に、転倒防止器具を取り付けましょう。器具は、ホームセンターなどで販売されています。また、万が一転倒したときのために、家具から一定の距離を置いて就寝するといった心掛けも大切です。



その4 避難時は! ... 電気・ガスの元栓切って

阪神・淡路大震災では、電気が復旧したときに、電気製品の再作動が原因の「通電火災」が多く発生しました。避難するときは「電気ブレーカーを落とす! ガスの元栓は切る!」を徹底しましょう。

地震の揺れを受けると自動的にブレーカーが落ちる「感震ブレーカー」の設置も検討しましょう(ホームセンターなどで販売されています。イラストは一例です)

その5 地震だ! ... となり近所に声かけて、まずは「いっとき避難場所」

地震が起きたら、まずはとなり近所の安否や被災状況などの情報を「いっとき避難場所」に集めましょう。場所や仕組みは、自治会町内会単位で決められています。詳しくは、お住まいの自治会町内会にお尋ねください。

▲このような看板で案内している自治会町内会もあります



災害時に確かな情報をお届け! ぜひ登録してください

- 横浜市防災情報Eメール
地震震度情報をはじめ、防災情報を配信するサービスです。
- 横浜市防災メール
検索
- 港南区安全・安心情報メール
区内の災害をはじめ、不審者情報など身近な危機情報を配信するサービスです。
- 港南区安全・安心情報メール
検索
- 横浜市港南区災害情報ツイッター (twitter)
大規模災害発生時などに限り、区内の災害情報や緊急情報をお知らせします。
- アカウント名: @y_konan_saigai

備えておこう お役立ちマップ

- 港南区区民生活・防災マップ
区内の公共施設などを掲載した区民生活マップと、防災マップを掲載しています。防災マップでは、地域防災拠点や広域避難場所などを確認できます。
- 港南区防災ガイド(中学生編)
地震発生時の行動など、防災について中学生にも分かりやすくまとめています。
- このほか...
●わが家の地震対策
●横浜市浸水(内水・洪水)ハザードマップ
●横浜市土砂災害ハザードマップ



広域避難場所へ避難します
大規模な火災による熱や煙から生命・身体を守るために、一時的に避難する場所です。

地域防災拠点へ避難します
倒壊などのため自宅で生活できない人が避難生活を送ったり、在宅被災者が物資や情報を入手したりする場所です。避難した人が安全で秩序ある生活を送れるように、自治会町内会の役員の皆さんを中心として組織された運営委員会が運営します。

自宅に戻ります
このほか、地域防災拠点での避難生活が困難な高齢者や障害のある人のために、必要に応じて開設される「特別避難場所」があります。

お住まいの地域ごとで指定されています。自分がどの広域避難場所や地域防災拠点へ避難することになるか、区民生活・防災マップや区ホームページで確認しましょう。

地域防災拠点の訓練に参加しよう

日程	拠点名	日程	拠点名	日程	拠点名	日程	拠点名
9月1日	相武山小学校	10月1日	港南台第一中学校	10月22日	下永谷小学校	11月12日	芹が谷中学校
	永谷小学校		野庭中学校		日限山小学校	11月19日	日下小学校
9月4日	野庭すずかけ小学校		港南台第二小学校		東永谷中学校	11月26日	港南台第三小学校
	吉原小学校	10月2日	上永谷中学校	10月23日	下野庭小学校	平成29年1月14日	洋光台第三小学校
	日野南中学校		笹下中学校		丸山台小学校		
9月24日	小坪小学校	10月8日	港南中学校	10月29日	丸山台中学校		
	日野小学校		芹が谷小学校	10月30日	桜岡小学校		
9月25日	永野小学校	10月15日	日野南小学校	11月5日	日限山中学校		
10月1日	南台小学校	10月16日	港南台第一小学校				

*芹が谷小学校は6月25日に実施済みです

※変更の可能性もあるため、時間など詳細は自治会町内会の回覧板や掲示板、区ホームページなどで確認してください

災害時の医療は、受診先が緊急度・重症度に応じて変わります

大地震が発生したときは、できるだけ多くの命を救うため、医療機関は緊急度・重症度別に役割を分担します。次の判断目安を参考に、自分や周りの人が判断して、受診や自助・共助による応急手当をお願いします。

判断目安のひとつ 「災害による負傷等をして、自分で歩行できるかどうか」	受診先 災害時に診療が受けられる病院・診療所は、「診療中」を表す赤、または黄色の旗を掲出します
重症 災害による負傷等で 歩行できない+生命に危険がある 【生命に危険がある状態】意識が低下している、呼吸が浅い、脈が触れない、手足が冷たい、大出血をしている	災害拠点病院 済生会横浜市南部病院ほか 市内12か所
中等症 災害による負傷等で 歩行できない (重症者以外)	災害時救急病院 秋山脳神経外科・内科病院、 長田病院、港南台病院、横浜東邦病院
軽症 災害により負傷等をして 歩行できる	診療所または医療救護隊*活動場所
極めて軽度の負傷	区民の自助・共助による応急手当 (周りの人と協力しながら、応急手当を行ってください。なお、地域防災拠点に応急手当用品(消毒液、包帯等)が配備されています)

*医師・看護師・薬剤師などで構成され、活動場所となる医療機関(災害時救急病院、朝倉病院、港南区休日急患診療所)の玄関付近で、軽症者の応急手当を行います

風水害からも命を守る! 台風や大雨のときは...

近年、大型台風やゲリラ豪雨などによる被害が増えています。警報・注意報などの気象情報から雨の様子や周囲の状況を把握し、避難方法を判断してください。

水平避難 自宅から離れ、安全な場所に避難する方法
近くの高台、土砂災害警戒区域外など安全な場所へ避難する方法です。自宅から離れて避難できる状況であれば、水平避難を心掛けましょう。区では、土砂災害警戒情報の発表が見込まれる場合に港南地区センターを、また、実際に発表された場合は野庭地区センターと永谷地区センターも避難場所として開設します。

垂直避難 高いビルや自宅など、建物2階以上に避難する方法
0.5m~3.0m程度の浸水などで、身に危険が迫っていても安全な場所まで避難することができない場合は、垂直避難を心掛けましょう。

建物内の安全な場所で退避
「屋外への避難」だけが避難ではありません。自宅の中でも斜面から離れた部屋へ退避することも、身を守ることに繋がります。

避難勧告などが発令されたり、こんな前兆現象があったら注意!
・小石がバラバラ落下
・斜面に湧水が発生
・斜面に亀裂が発生